

学校運営協議会委員からの感想・意見

1 令和6年度卒業を祝う会について

- ・いつも感じることだが、宮本小学校の子供たちの行事に臨む姿勢が素晴らしいと感じた。
- ・卒業を祝う会は毎年のことながら、気持ちがこもっていて素敵な会であった。また、出し物のセンスがよく、先生方がよく考えているなど感じる。
- ・卒業を祝う会は年々内容がレベルアップしている。
- ・卒業を祝う会では、小学生としての表現が非常に高いと感じた。保護者が見られるとよいのではないかと感じる。
- ・卒業を祝う会は、泣けてしまう素敵な会であった。先生方の指導に感謝したい。

2 学校の教育活動について

- ・情報活用能力育成の授業は本当にすごいと感じた。自分たちが子供の頃の授業とは、違い子供たちが主体となって授業が進められていくことに驚いた。このすごい授業をずっと続けてほしい。
- ・情報活用能力育成の授業もそうだが、宮本小学校のよいところ、ずっと続けてほしいところは、先生方が代わっても続くようにしてほしい。それが、宮本中学校につながっていき、地域の学校への信頼につながっていくと思う。
- ・今年度は12月に学校運営協議会委員だけの授業参観をさせていただき、普段の子供たちの姿や先生方の姿を見られたのがよかった。
- ・校長先生がおっしゃった個別最適な学びや協働的な学びは、授業を通して、周りの子たちも主体的に取り組んでいて、素晴らしいと思った。先生方の日頃の指導の成果であったり、ICT機器を中心としたツールの活用であったりと工夫されているからではないかと感じた。
- ・今は学力の数字ではなく、人物を見る世の中である。宮本小学校はそういった世の中に通じる人間を育てていると感じる。
- ・世の中では、AIに投資している。こういった世の中に合った教育がされていると感じる。
- ・5年生の出前授業やフードドライブの取組に関わらせていただいた。どの学年も情報収集や体験に基づいた学びをしていると感じる。情報収集と体験という両輪の学びを繰り返しながら、ブラッシュアップし、内容を深め

ていく学び方が素晴らしいと感じる。体験に基づいた学びは先生方の準備が大変だろうと察するが、非常によい学びにつながっているので、ぜひ継続して行ってほしい。

- ・ 学校評価のアンケートを見ると、家庭が自己の子供に対する評価がやや厳しめである。家庭が学校でやっていることをもっと深く知ることができる、学校がどこまで子供に求めているのか基準がわかり、学校と家庭が一体となって、子供たちの成長に向き合えるのではないか。
- ・ 新しい取組が形骸化しないように工夫して行ってほしい。
- ・ コミュニケーションや議論の深まりが見られた。大人の会議では、8割が無言で声の大きい1～2割で動いている。授業の中でも発言できない子がいると思うので、そういった子を引っ張ってできるように導いてくれるとよいと思う。